

# お母さんまたつくろうね

## —親子クッキング—

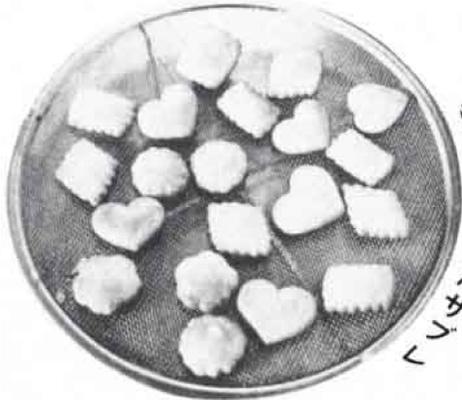
二月二十六日、いまいずみ幼稚園年長組の園児たちが、お母さんと一緒にサブレとホイルケーキをつくりました。バターと砂糖を入れた粉をこね、形を抜きオーブンで焼きましたが、途中でちよつとつまみ食い。「あまくておいしい」の声。でき上がったあと教室で一つだけ試食し、大事に家へ持って帰りました。

膨らますのにベーキングパウダーを入れますが、家で母親が膨れ面をしていたら「ベーキングパウダーだ」といった園児がいたとのことでした。

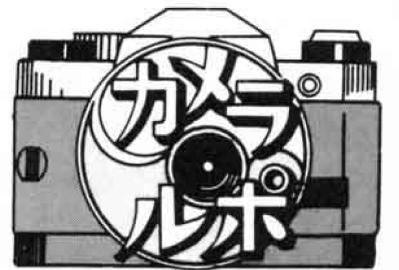
△一番おもしろかった形抜き



△卵の白身を塗りました



焼き上がったお菓子たち



△右から3人目が鈴木さん

## 二十五万人目の入館者

市立博物館

二月二十七日、市立博物館に二十五万人目の入館者がありました。幸運な人は、富士山写真展を見に来た鈴木純子さん（石井）二十一歳です。

入口に立っていた館長から「おめでとう」と言われ、わけのわからなかつた鈴木さんも、説明を受けて納得。翌日の記念式典で、陶器などの記念品を受け取りました。記念式典は五万人ごとに行っていますが、今回は一年半で達成です。



△鈴木市長から記念品の贈呈

## 四十五年ぶりの再会

残留孤児の佐野奈美さん

中国残留孤児の張鳳英さんは、岩本の佐野りんさんの二女、奈美さんであることがわかりました。奈美さんは、二十三日に家族と涙の対面をしましたが、翌日鈴木市長を表敬訪問し、「中国では夫と子供の三人家族で、結婚してからは幸せな生活を送っています。出発のときはあきらめていた親族と会えたことが、今でも夢のようです。ゆうべはお母さんと一緒に寝ました。今は大変幸せです」とうれしそうに話してくれました。